

IEEE/ICESの動向について

平田 晃正
名古屋工業大学

IEEE ICES委員会について

- IEEE International Committee on Electromagnetic Safety・・・IEEEにおける標準化団体
 - Technical Committee 95 人体安全性、
 - Technical Committee 34 製品安全性、
- C95.1(高周波規格)およびC95.6(低周波規格)を合併する方向で議論
- 毎年1月と6月に会合
電話会議(不定期。最近は2回/月)

IEEE ICES委員会

低周波(中間周波): 基準値の人口カバー率推定のために、統計的手法の導入を検討. 詳細モデル導入の可能性を検討中.

高周波: 米国では、第5世代(6GHz以上、ミリ波まで)における安全性評価に関心

2014年 IEEE C95.1234 = NATO Standard (軍のみならず、その居住区の一般市民に適用)

2018年末 低周波、高周波統合規格

2018年1月22-24日 IEEE ICES会合を米国・フェニックス近郊で開催

IEEE ICES規格(案)について

- SAR(比吸収率)と電力密度の遷移周波数
6GHz
- 透過電力密度(Transmitted Power Density)の
導入(GLORE会議では、Penetrating Power
Densityと呼ばれていた)
- 入射、透過電力密度の平均化面積 4 cm^2
- 6GHz以上の大強度短パルスからの防護